

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 大川、大石、西

以上 3 名

2 山城・ルート 五竜岳・遠見尾根ピストン

3 交通手段 電車 車 バス

## 4 行動記録

入山日 2016 年 1 月 8 日 下山日 2016 年 1 月 10 日

1 月 8 日(金)20:30 大川邸出発→翌 3:00 安曇野松川道の駅 仮眠

1 月 9 日(土) 6:00 起床→8:00 白馬五竜スキー場出発→8:30 テレキャビンアルプス平→10:30 地蔵ノ頭(H1673)→13:30 小遠見尾根(H2007)→15:00 中遠見山(H2037) (テント泊)

1 月 10 日 (日) 4:30 起床→6:30(テント撤収)7:00 中遠見山出発→ 8:30 小遠見山→

10:00 テレキャビンアルプス平→下山 入浴後帰神 20 時

(天候)

- ・ 1 月 9 日 曇り後晴れ ヤマテン大荒れ情報有
- ・ 1 月 10 日 明け方まで雪、日中強風 ヤマテン大荒れ情報有

## 5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

### a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

- ・ 他の入山者なく、最初からラッセル続いた。スノーシューで膝から股下位。進行に苦勞し、予定の倍程度の時間が掛かった。15 時前にやっと中遠見山に到着し、露營した。
- ・ 翌日、ヤマテン大荒れ情報(暴風)あり、標高 2400 以上は分厚い雲に覆われ、強風が吹いていたため、登頂は中止し、下山した。
- ・ 帰りは自分たちのトレースが微かに残り、3 時間程度で下山した。

### b 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか 発生した場合は具体的に記す

- ・ OH さんのスノーシュー(MSR)の足セッティングが後ろ過ぎ、うまく装着できず、ずれて、何度か外れた。帰宅後セッティングを修正した。(踵にかかるベルトが長すぎたようだ。)
- ・ テント固定のため、テント外張りの紐(輪にしていた)と竹ベグの紐(輪にしていた)をタイワして連結したが、撤収の時タイワがきつく締まり、オーバー手袋では外せず、苦勞した。  
(対策) 大石さんのアドバイス

テント外張りの紐は輪にせず(1 本のまま)、竹ベグの紐の輪にミュールットで仮固定をおこなう。撤収の時は、テント外張りの紐を引っ張るだけで外れるので、簡単に回収できる。

### c 山行の問題点、今回の教訓、感想

- ・ 厳冬季の北アルプスの厳しさをまたまた実感した。
- ・ 今回は他の入山者がなく、自分たちだけでトレースをつけていけたことが良かった。
- ・ この時期の雪は本当に綺麗で、青空とのコントラストが美しかった。
- ・ 夕方一瞬見えた五竜岳の山頂は神々しかった。

報告者氏名 大川 肇

平成 28 年 1 月 15 日



